

BPT (バイオマスプロジェクトチーム)だより No.34

<http://www.pref.chiba.lg.jp/svozoku/e/ichihai/bio/biotop.htm>



平成19年8月30日 (木)

バイオマスプロジェクトチーム

(環境生活部資源循環推進課)

1. 事業の進捗状況等

○バイオマス利活用推進シンポジウム

8月3日、千葉市内のホテルにて、千葉県と(財)千葉県産業振興センターの共催によりバイオマス利活用推進シンポジウムを開催しました。

最近のバイオ燃料の報道等により、バイオマスに対する関心が高まってきており、当初の募集定員を大幅に上回る261名の参加がありました。

今後も普及啓発や情報提供等に積極的に努めていきます。



バイオマス利活用推進シンポジウム

○環境先進国ドイツのバイオマス最新レポート (その3)

ーデュッセルドルフ市の一般家庭ごみ・生ごみ対策ー

ドイツの家庭ごみの収集システムの特徴として、発生するごみは市民が自分たちで紙や木材などに分類して、それを市が設置しているそれぞれの専用コンテナに持ってきて投入する方式が行われています。デュッセルドルフ市内を歩いていると街の随所に色分けされた大型のコンテナが置いてあるのに気付きますが、それぞれ個性的なコンテナが整然と並べられている風景はどここの町でも見られます。

例えば、ガラス瓶は茶色、緑色、透明の3種類のガラスビン専用コンテナで回収されており、自宅の樹木ごみ(せん定枝)は自家用車で持ってきて、樹木ごみの専用コンテナに入れていきます。

また、清掃事業を行う会社では、秋になると路上の落ち葉を集めており、それらは樹木ごみと一緒にコンポストに処理されています。このようにドイツでは、まず素材のままリサイクル利用できる方法を考え、できないものは燃料として利用しているのが一般的です。



市内に設置されている資源ごみ用のコンテナ

(市民が“減量化”や“生ごみ分別”に向かう仕組み)

デュッセルドルフ市には、家庭の生ごみを分別して収集するシステムが導入されています。

市民は、市から提供される“生ごみ(有機性ごみ)用バケツ”を任意に購入することができる仕組みがあって、市内には、約16,000箇所に“生ごみ用バケツ”が設置されており、現在では市民の約1/5が生ごみ用バケツを利用しているそうです。

日本の家庭ごみ収集システムと異なるものに、敷地ごとに最低1個の“一般ごみ用バケツ”を必ず購入することになっている点があります。このバケツは大きくなるほど高い値段が設

定されており、市民は自分のごみの発生量に応じてその処理料金を毎年市に支払っています。市はその料金収入によって税金を使わずに家庭ごみの処理を行っており、また、発生量に応じた費用負担の仕組みがごみの“減量化”にもつながっているそうです。

そして、市の生ゴミ分別回収を進めるユニークな取組みに、市民が“一般ごみ用バケツ”を購入した後で、さらにもう1個の回収バケツを購入するときには、同じ“一般ごみ用”か、料金の安い“生ごみ用”を任意に選択できる仕組みがあります。その結果、多くの市民が“生ごみ用バケツ”を選ぶことで、生ごみの分別回収が拡大しているのです。

ちなみに、市民が負担するごみ処理料金は、一番大きな“一般ごみ用バケツ”1個で年間に400ユーロ（約6万2千円）、“生ごみ用バケツ”は一般ごみ用よりも安い105ユーロ（約1万6千円）が必要となり、これらは週1回のペースで回収されているそうです。

このようにドイツのごみ行政では、あえて高い処理料金を設定して発生者に応分の負担を求めることで市民への自覚を促し、資源ごみの回収や減量化を図る施策を進めており、デュッセルドルフ市では、生ごみ処理料金を安くすることでその回収を広げること成功しています。ちなみに、市民に“分別回収”や“高い処理料金”の負担について聞いてみたところ、「今では当たり前なこととして受け入れている」との回答が大勢でした。

2. 研究機関等との連携等

○第2回地域LCA協議委員会の開催

（LCA：ライフサイクルアセスメント）

8月8日、(独)産業技術総合研究所LCA研究センターと千葉県を構成メンバーとする地域LCA協議委員会が開催されました。

今回は東庄町の協力を得て実施したアンケートの結果分析の報告等の後、意見交換を行いました。



地域LCA協議委員会

3. 普及啓発活動

○講演等について

8月は以下の講演を行いました。

- ・安房郡市バイオマス研修会（8月1日・館山市コミュニティセンター）
- ・館山市バイオマス庁内勉強会（8月29日・館山市庁舎）

～イベント予告～ エコメッセ2007 in ちば

「エコメッセ」は、持続可能な社会の実現をめざして、市民・企業・行政が良好なパートナーシップをもとに協働し、開催する環境見本市で、今年で12回目になります。

バイオマスプロジェクトチームも昨年に引き続き出展し、バイオマスの紹介等をしますので皆様奮ってご来場ください。

- ・日時 平成19年9月9日（日） 10:00～16:30
- ・場所 幕張メッセ 国際会議場 ※入場無料
- ・お問い合わせ先 エコメッセ2007 in ちば実行委員会事務局 080-5374-0019
ホームページ <http://ecomessechiba.jp/>